



◀村上ひろし公式ホームページ

〒862-8601 熊本市中央区手取本町1-1

TEL(096)328-2650 FAX(096)324-7777

2021年11月発行

もくじ

「都市整備分科会」報告……………1

長溝団地の浸水について ……2

お便り紹介

くまもとCSの会より ……4

トピックス

バリアフリーマスタープラン ……5

寄稿

大和クリニック山本医師より ……6

『アメリカ報告』第2弾 ……7

村上市議 一般質問 傍聴記 ……8

一般質問項目

熊本市議会議員 村上 博



- 1 環境問題について
江津湖の環境について～江津湖の生態系について
- 2 教育問題、福祉問題
(1)SSWが必要な子どもたち
(2)幼稚園・保育園へのSWの配置・確保について
(3)「バリアフリーマスタープラン」作りについて
- 3 「8月豪雨」による冠水被害の状況について
- 4 災害時の避難対策について
(1)災害時の要避難支援について
(2)災害時の本庁舎での避難について
- 5 化学物質過敏症患者への支援について
- 6 外国籍の子どもたちの教育について

2021年9月議会「都市整備分科会」報告

- 1 「バリアフリーマスタープラン」策定事業は、障害当事者を含め、妊娠中や子育て中の女性の登用が必要と、多様な人たちの視点や市民の相互理解の意識を醸成することが不可欠、との発言がありました。また、車いすでの移動体験など障害者の目線での取組みが必要との発言もありました。
- 2 「空き家対策法」が成立したので、倒壊の危険性が高い空き家の撤去手続きと行政代執行の要件や基準を明確にするべきでは。また、コロナ感染対策として飲食店の換気設備を改修する補助事業を行った場合には、改修店舗が県の感染防止対策認証店に認証されるように、連携してサポートを行ってほしい、との要望も出されました。さらに補助事業を行った場合の費用対効果の検証を行うように求める発言もありました。

熊本市議会議員 村上 博



風が秋めいて爽やかになってきました。皆さん、お元気でしょうか！ 熊本市議会9月議会で一般質問を行いました。一般質問の内容を詳しく掲載します。

ところで、質問項目の一つ、「8月豪雨の浸水について」と題して長溝団地一帯の浸水問題を質問。以下は質問に至った経緯ですが、私の姉(アメリカ在住)に関係するとても奇遇な出逢いもあり、紹介します。

■ 長溝団地の浸水～最大55㍍の深さ !!

浜線バイパスに沿って長溝団地という1戸建ての大型住宅団地があります。50数年ほど前に開発された熊本でも古い歴史の団地です。浜線バイパスと東バイパスに挟まれた地域で、近くには浜線ショッピングモール(ゆめタウン浜線)や中央病院がある一帯です。

8月7日、熊本地方は大変な豪雨でしたが、その後、長溝団地の住民のMさんから「浸水した現場を見てほしい」との連絡があり、8月22日、Mさんと待ち合わせ、現地を見て回りました。長溝団地の広いエリアが浸水し、道路面で最も浸水したところは55㍍の深さがあったそうです。

現地を見て、驚きました。用水路のなかいっぱいに、水辺に自生する葦がびっしり生い茂っていたからです。葦は多年草で、高さは2メートル以上になります。群生している葦を見て、排水できずに溢れるわけだと私は思いました。

雨が降った時、川へ排水するのが用水路の一番大きな役割、連絡されたMさんの話では、これまで、多少の雨で



ガードレールの右側は、多年草の葦が生い茂っている用水路

は一度も溢れなかったそうです。

また、一人暮らしのM・Kさんと言う女性からも、玄関の上り口ギリギリまで水がきて怖かった、と当時の様子を詳しく説明されました。

現地を見に行った日は9月議会の2週間前、まだ間に合うと思い、急遽、一般質問に取り上げようと決意しました。

9月8日が私の一般質問の当日。長溝団地からも、2人が傍聴に来られました。質問を終え、2日後、現地を見に行くと、土木会社の人たちが、重機を使い、3日をかけて葦を伐採中でした。この用水路は天明新川に繋がっていますが、今後、雨が降ってもきちんと排水されるように、改修状況の今後を見届けます。



作業員の方に激励の声かけ。濡れた葦は重くて大変とのこと

私の質問に対して、都市建設局長がこれまでの改修の取組みの不十分さを謝り、今後は計画的に確実に改修すると答弁しました。



重機でないと、刈り取った葦は水を含み、重くてトラックに積みません

その後、浸水の状況を説明してくれた女性からお礼の電話があり、とても喜んでおられました。話をしていると驚きました。ご出身が松橋町で、宇土高校で私の姉と一緒にだった、そうです。卒業アルバムで確認したので間違いなし、と言われました。その女性は3年6組、姉は4組だったそうです。旧姓を尋ねましたが、果たして、姉は覚えているでしょうか!?

その女性、M・Kさんはとても懐かしそうに話され、私も嬉しくなりました。

台風14号が近づいていただけに、葦が刈り取られただけでも、住民の皆さんはホッとされ、安心されたとの事です。

私は、一般質問の中で、長溝団地の住民からの丁寧な聞き取りを要望し、8月豪雨で不安と恐怖を感じた地域が他にもあるのか、調査を求めました。

私の質問に、都市建設局長は、これまで市内6カ所を改修地域と指定し、現在までに3カ所の改修は終わっているが、今回の長溝団地周辺はその6カ所に含まれていなかった、厳密に調査のうえ改修する、と答弁。

用水路の底が土だったことから、葦が群生し、大雨を排

水できずに浸水の事態を招きました。用水路の底をコンクリート張りにすれば葦の群生を防ぐことができます。

今回の長溝団地一帯の浸水を通して、住民の不安を速やかに取り除くための議員としての役割を果たせたことで、安堵しています。

常日ごろの課題の解決とともに、突発的なことにもいかに関り、動くかで政治や行政への市民の信頼感にも不信感にも繋がることを実感しました。

今回の出来事をしっかり肝に銘じ、議員活動に務めることを決意しました。



水路一面を覆いつくしていた葦が刈り取られたあと

設置場所募集中!

村上ひろしの立看板ができました。

設置可能な方は、
市民連合 村上ひろし まで
096 (328) 2650



白山通り いんくる前



用水路のアシ
用水路から生えているアシは
手を上げて届かない
この高さ!!



アシの刈り取り
作業中の人に
声掛け

本当にご苦労様です!!



用水路を一周してみました
行けば行くほど手付かずの自然いっぱいの風景が広がっていました。



重機の威力 刈り取ったアシを重機でトラックへ。
濡れたアシの重さは人力ではムリ!



浸水した時の最深の深さは55cm この深さだと車いすは完全に水没



55cmの所
まで浸水



バリアフリーマスタープラン

『住みやすく暮らしやすいバリアフリー都市、熊本への大きな一歩!!』



熊本市議会9月議会で、「バリアフリーマスタープラン」の策定経費320万円が上程、可決されました。

障害当事者や女性も参加して、バリアフリーの理念が盛り込まれたまちづくりプランの策定へ向け、私の要望がまた一つ実現します。素晴らしい一歩です!!

所管は都市政策課です。策定作業を行う検討会の定員は20名。障害当事者に加え、妊娠中のママさんや子育て中のお母さんなど女性の比率は約40%です。

現在、委員の選考が進められており、11月中に第1回目の会合が行われる予定です。

熊本市議会議員 村上 博 様

今日の質問、本当に有り難ございました。時間の関係で文字数を減らす必要があるとの厳しい状況の中、ほぼ予定通りの質問内容で、中継を見ながら感激しました。当会の会員も、「私たちが日々切実に思っている質問だった!!」と喜んでいました。

私は、重症化したのが30代の頃で、診断後の暦はまだ数年と浅い方ですが、数十年この病気で苦しんでいる方も多く、「化学物質過敏症を発症しても支援はない、救いがなし」と、病歴が長い方で半ば諦めたように呟く方もこれまで見てきました。

今日の質問は、熊本市内に住む患者はもちらんのこと、全国で苦しんでいる多くの患者にとっても、一つの光になったと思います。改めて心より感謝申し上げます。化学物質過敏症は健康・医療の問題だけでなく、環境、教育、経済、地域社会、様々な領域に関係する疾患です。関心を持ってくださる方々と、少しずつでも建設的な議論を今後進めることができたいと思います。

化学物質過敏症患者会 くまもとCSの会

共同代表 I・R



座っている時間を、立っている時間や歩く時間に変える

大和クリニック
山本 浩一朗



皆さん!初めまして、九品寺の大和クリニックの院長、山本浩一朗と申します。

令和3年、コロナ過の中で開業5年目を迎えました。村上さんの主治医として、1ヶ月に1回の受診で、健康状態をfollowしています。

私が最近気になっていることは、コロナ過の中で御高齢の方たちがステイホームの影響で、足腰の筋力低下の印象を受けます。病院勤務時に、足の筋力が低下した方が病気になる場合、治療とリハビリを行っても、寝たきりのケースをかなり経験しました。年齢を重ね、足の筋力を維持するには、日々の運動の習慣化が大事です。医学誌の報告では、日常的に運動する群と、まったく運動しない群を比較すると、1日15分でも中等度以上の運動をしていた人は、寿命が3年長いとの結果が出ました。また、運動していた群の死亡率は、していない群より14%の低減が報告され、運動習慣の維持は、寿命を長くする効果があります。

このコロナ過での運動には気が乗らない方は、座っている時間を、立っている時間や歩く時間に変えてみたらどうでしょうか。座っている時間が4時間未満の成人に比べ、4~8時間、8~11時間、11時間以上と長くなるにつれ、各段階ごとに総死亡リスクが11%高まると言われています。また、テレビ視聴が7時間以上の成人は1時間未満の成人に比べ、総死亡リスクが47%高いと言われており、座っている時間が長いことは、健康に悪影響を及ぼします。1日2時間、座っている時間を、立つ時間や歩く時間に変えると健康に好影響を与えるとの報告もあります。是非、皆さんも試してみてくださいでしょうか。

コロナウイルス感染症の流行は、気持ちの上でも閉塞感を与えますが、コロナ過で大ヒットした鬼滅の刃の煉獄杏寿郎の言葉『胸を張って生きる。己の弱さや不甲斐なさにどれだけ打ちのめされようと、心を燃やせ、歯を食いしばって、前を向け。君が足を止めて、蹲っても、時間の流れは止まってくれない。共に寄り添って、悲しんではくれない』を胸に刻み、炎の呼吸で、このコロナ過を乗り越えていきましょう。



昨年、人吉豪雨にてJMATとして災害医療に参加。
(中央が山本先生)

『JMATとは?』

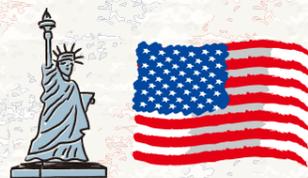
『JMAT』とは…Japan Medical Association Teamの頭文字を取ってJMAT。

日本医師会災害医療チーム:JMAT(Japan Medical Association Team)とは、日本医師会が組織する災害医療チームです。

各都道府県の医師会がそれぞれチームを編成しており、災害時に被災地の医師会から要請を受けて派遣されます。避難所を中心に医療活動を行い、被災者の命と健康を守り、地域医療の復興を支援します。

災害時に活動する医療チームには、厚生労働省または各都道府県が組織するDMAT(災害派遣医療チーム)もあります。DMATは、初期医療体制の遅れによって多くの命が犠牲となった阪神淡路大震災をきっかけに設立されました。

JMATはDMATの後を引き継ぐ形で、原則として災害発生から48時間以内の超急性期に被災地へ派遣され、避難所や救護所で医療活動を行います。チームは主に専門的なトレーニングを受けた医師1名、看護師2名、事務職員1名で構成され、必要に応じて薬剤師や理学療法士、栄養士などが加わります。1つのJMATの派遣期間は3~7日が目安です。JMATの派遣期間は現地の医療体制が回復するまでで、災害の規模によっては数ヶ月から数年と長期間にわたって派遣要請が出る場合もあります。



『アメリカ報告』第2弾

林 慧子(Lin. M. Keiko)



『政府はブースター接種を検討』

病院も患者が増えているのは確実です。2度のワクチンを打った人で8ヶ月経った人達のブースターショットを考えていると政府は発表しています。今問題になっているのは、一度もワクチンを打っていない人がいることです。ワクチンを打ちたくない人はそれ相当の理由を持っていますし、またもう一人は、癌の治療中のためワクチンを打てない人もいます。

『レストランのチップが20%増し!』

第7号で紹介したレストランに先日、また行きました。金曜日の夕方5時頃でしたが、お客さんは前より多い感じがしました。メニューにはチップを20%加促、と書かれていました。ホテルの接客の人はマスクを着けていますが、レストエリアの人々は、マスクを着けている人、そうでない人の割合は、8割位が着用していた感じがします。夫は、皆つけていた様な気がする、というくらいですから、マスク着用者が如何に多いかが分かります。



ちょっぴり改善の方向に動き始めている事を実感! スーパーで売っているサーモンの刺身とアボカド巻でランチするのが、二人の唯一の楽しみ、今日もテラスで楽しんで来ました。

『娘や孫たちと会えない年末』

12月に予定されていた夫の学術会議の出席は、対面禁止となり、久しぶりのノーザンアイランド(北アイルランド)での娘との再会のチャンスが無くなりました。ノーザンアイランドの孫達は、9月から小学校3年と中学2年となり、毎日、忙しく学校に通っています。水泳のレッスンも始まり、子供だけが建物に入り、親は駐車場で待っているとのこと。孫たちは、髪をキッチンとドライヤーで乾かして出てくるそうです。よく羨んでいるなーと感心します。

『コロナwithで規制緩和のイギリス』

夏の頃、イギリスのジョンソン首相が「コロナwith」ということで規制が緩和され、数人のお友達と会ってお食事ができる様になりました。孫娘の7歳のお誕生日には、子供3人、親が6人とお兄ちゃん1人が公園に集まりパーティー。子供の両親と一緒にパーティーについて行くとは…と私は、笑ってしまいました。

【ブースター接種】 ワクチン接種で免疫をすでに持っている人が、再度ワクチンを受けることで追加免疫を得るための接種のことを言う。

【ノーザンアイランド】アイルランド島北東部の地域。アイルランド共和国成立後もイギリスに属する。中心都市はベルファスト。

※林 慧子は、私の姉です。アメリカに移り住んで50数年。アメリカの様子を寄稿してくれました。

村上ひろし市議 一般質問 傍聴記 9月8日

熊本高教組子ども支援・教育文化研究所 研究員 正 林 民 雄

9月議会のトリ(最後)の一般質問だった。村上議員ならではの質問がいくつも並んだ。

特に、化学物質過敏症の患者支援の質問は先駆的である。建材に使われるホルムアルデヒドなどが部屋の空気を汚染し、目、鼻、喉が刺激され、涙、くしゃみ、吐き気や頭痛が起きるシックハウス症候群については聞いたことがあったが、今回の質問の該当者の場合、屋外の過敏症。外出や通勤が全くできないというから、インフルエンザの高熱で寝込んだ苦しさや年中続くかと思うといたたまれない。どのような化学製品や農薬が刺激を与えるのか本人もわからない。自室に籠らざるを得ない。生業をもてない。困窮を余儀なくされる。

熊本市健康福祉局長の答弁によれば「把握できている患者数は13人(県内の患者組織に加盟している13人)」。『化学物質過敏症の専門医療機関や専門医は県内や九州にはない』。熊本県の患者組織「CSの会」が中央から医師を熊本に呼ぶそうだ。支援策について健康福祉局長は「『CSの会』と相談しながらすすめていく」と答弁してくれた。まず、医師を呼ぶ費用？

本稿冒頭、「村上議員ならでは」と書いた。バリアフリーのまちづくり、医療的ケア支援児童の就学問題あるいはスクールソーシャルワーカー(SSW)の学校配置など、生きづらさを抱える少数者の命と暮らしを守る行政施策の実施は、ゆくゆくは多くの一般市民の幸せを増進するのだ、という姿勢である。これが「村上議員ならでは」の第一の要素。

「村上議員ならでは」の第二の要素は、現象の背景にある課題を可視化することである。江津湖に動物・植物合計15種の外来生物が生息しており駆除の成果が答弁された。「珍しい」「きれい」など、単純な動機で放った生物が生態系を壊した、という認識がなかった結果である。生態系概念の市民啓発が重要ではないか。出水南校区の住宅地浸水問題は、排土堆積や葎(よし)の密生による排水路の管理不十分が原因とは言い難い。広大な水田地帯に過度に住宅地を造成してしまった問題が背景。戸建て住宅ごとの雨水浸透柵の設置や造成地毎に田畑埋め立てに見合う十分な調整池の整備が必要である。この問題は「出水南校区に限った問題ではなく、熊本市内各校区一般の課題」なのではないだろうか。

化学物質過敏症患者支援問題は、ほかの議員ではなく「村上議員なら取り上げてくれる」と評価されたのがありがたい。村上議員に尋ねると、わが市民ネットワーク事務局長の植田さんルートで紹介された。車いすの植田さんは熊本市のコロナ感染が「レベルⅣ」なので、この間ずっと外出を控え、活動がままならない。化学物質過敏症患者のイニシャル名Iさんと植田さんの接点は何だったのだろうか？

村上市議の質問で熊本市当局も化学物質過敏症患者支援の課題認識を持った。異なる社会的課題を抱える諸団体のネットワークが成果をあげたことになる。